

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

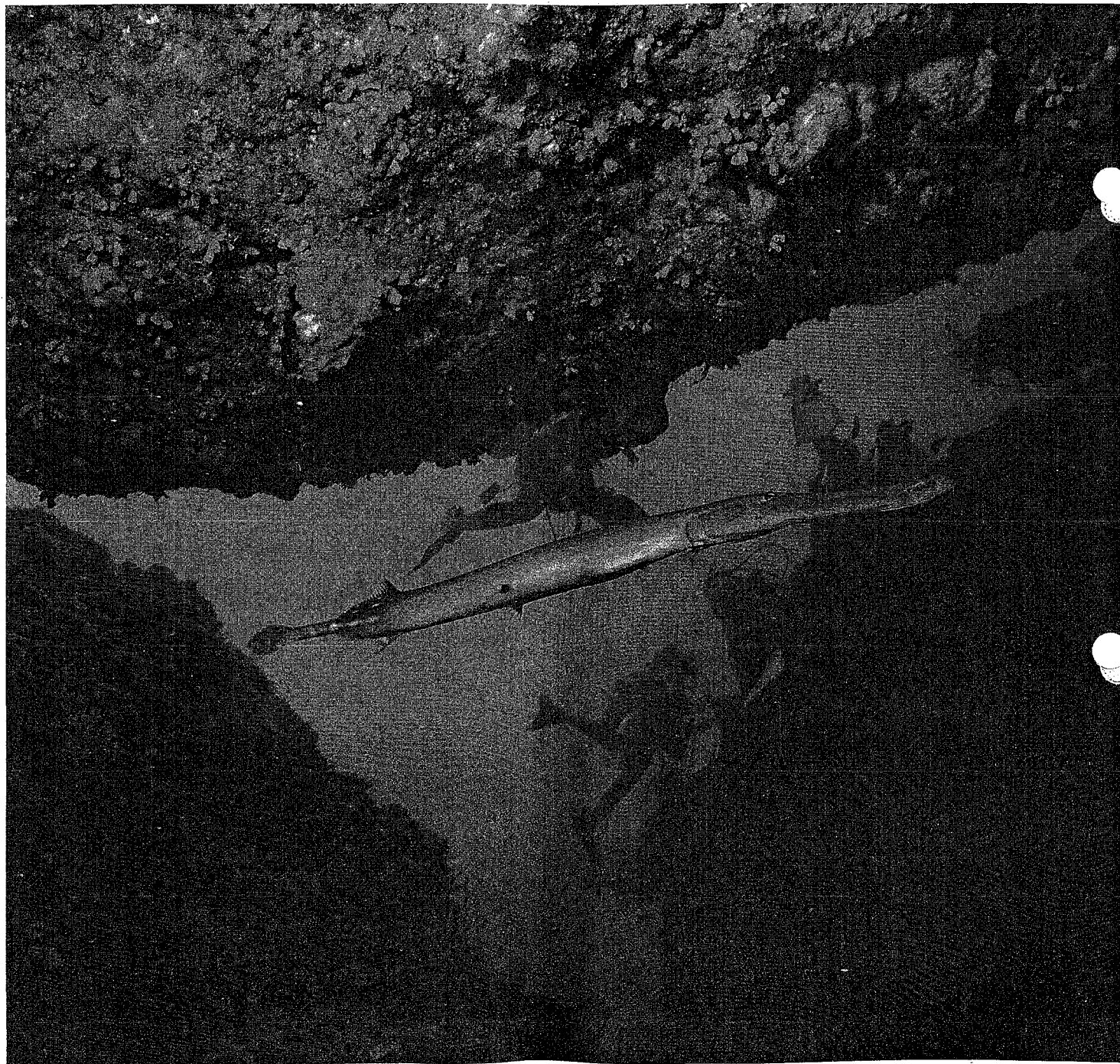
[TAKUSUI]

[TAKUSUI]

水石

9

SEPTEMBER
1994



特集 原因者不明の
漁場油濁被害救済申請の手引き (その5)

No.455



季節の香

かおり

【ハギ／萩】

谷添いの道に秋の色合いが濃くなる。ススキの穂が伸び、赤紫のヤマハギが風に揺れている。夏を惜しむヒグラシの声も弱々しく聞こえてくる。

ハギの花はその柔らかな姿が好まれ、古来より歌よみの対象となった。白花をつけるミヤギノハギは、広い庭にこそ相応しいが、思い切りよく延びて、しな垂れ掛かり大きな盛りあがりを作る。風に戦ぎ花がこぼれる。その風情には、激しさを秘めた才女のような趣きがある。

『萩』は日本流の読みだという。秋を代表する草花とみたのであろうか。ユラリと揺らぐ姿に雅びた優しさがある。

「七重八重九重とこそ思いしに、十重咲き出づるハギの花かな」万葉集

COLUMN

忠犬ハチ公

◆犬の知能は人間の三歳児程度らしいが、嗅覚は人の百万倍にも及ぶという。オオカミを先祖とするから暗闇の中でも行動できる。人との付き合いは旧石器時代にまで溯って実に古く、飼いやられて雑食性になったが本来は肉食獣である。極めて従順な所から人に都合よく改良され、多くの種類が創り出された。

◆ドイツで完成したシェパードは万能犬として重宝がられ、ドーベルマンは勇敢で大胆な気質から軍用犬として活躍した。スイスとイタリアの国境にある修道院では旅人の遭難救助のため、独特の飼育により聡明で利巧な犬を創り出した。時の名をとってセントバーナードと名付けた。四十人も遭難者を救った猛者がいるという。日本には狩猟に勝れた甲斐犬や紀州犬がいるが、大型の秋田犬は忠実さで知られ、渋谷駅前ハチ公にその姿を残している。

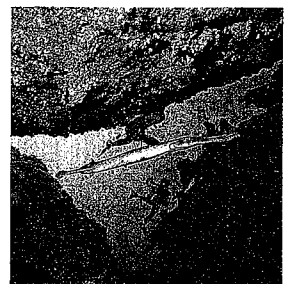
◆「飼い犬は飼主に似る」という。家畜のうち一番の忠義者と賞賛されるが、飼うには色んな制約を受ける。鎖に繋ぎ、登録を受け、狂犬病の予防をする。鳴き声があるさくなくか近隣に気を使い、毎日の散歩と糞尿の世話。そして十年余を飼い続ける責任感がある。◆都会には自由にできる空地が無い。道路は完全舗装だから散歩中の排泄物は持ち帰らねばならない。公園には飼主への注意を促す立札が目につく。それでも放置される糞はあとを断たない。ポイ捨てされるタバコの吸殻と同様に、道徳違反という意識がまったくない。飼主が飼犬に似てきて、イヌの知能に近くなるのかも知れない。(遊方子)

拓水 SEPTEMBER CONTENTS

季節の香	ハギ/萩	2
ESSAY	謡蹟を訪ねて 岡本伊三雄	4
特集	原因者不明の漁場油濁被害救済申請の手引き その5	5
	油濁事故防止啓発用ポスターを作成	7
水試ノート	生分解性プラスチックを用いたノリ養殖網の開発について	8
TOPICS	兵庫県漁協青壮年婦人のつどいを開催 県漁連ソフトボール大会大優勝旗初の生野 越え 平成6年度第1回兵庫県漁協役員研修会および 漁協信用事業実務者研修会開催さる	10
漁海況情報		12
海区漁業調整委員会だより		
栽培漁業センターです		13
普及員だより	『但馬・海中公園展』から	
旬の美味しい話	タチウオのムニエル	14
兵庫JCC通信	食料と農業守ろう 消費・生産者がシンポジウム 『平和の願いを広島から世界へ』	
ズーム	第15回近畿青年洋上大学に参加して	15
こちら海ですロケだより	豊かな兵庫の海を願って ～城崎郡香住町 他より～	

今月の表紙

フォトギャラリー



表紙写真
南 正一さん
〈水中写真家〉

フォト歳時記

水深十米/ヤガラ(足摺岬にて)
タツノオトシゴの今一つの名前は、その少し長い顔をワマに見立てて海馬という。しかし、ここにもっと素晴らしい面つきの魚がいる。尖光に浮かび出た一米ほどの魚影はヤガラと呼ぶ。またの名をトロンボンフィッシュとは、びったりのネーミングだ。
サンゴの住む海域。澄んだ流れには、沢山のサカナが生活する。水深十米。岩礁を取り巻き、深みから踊りあがるサカナたちに圧倒され、その生き様に教えられることは多い。海中探検の愉しさ。

表紙写真募集

アマチュアの方で、ご自慢の写真がございましたら、左のように明記して、お送り下さい。写真は必ずご返却いたします。①写真撮影場所②氏名(フリガナ)③郵便番号・住所④自宅電話番号(市外局番号も)⑤年齢・職業

送り先

〒六五二-二神戸市兵庫区中之島二丁目
二一 県立水産会館
兵庫県漁業協同組合連合会
指導部指導課「拓水」係宛

謡蹟を訪ねて

兵庫県漁港協会

事務局長 岡本

伊三雄

兵庫県と云えば港神戸、楠公さんで知られ、須磨浦海岸や舞子公園の景勝地から淡路島が海面に浮び、そして播州平野に聳え立つ白鷺城を経て但馬路へと続く、さすがに広大な雄偉兵庫は、また謡曲の題材になっている名所、旧跡の多いことにも感心させられる。

謡曲とは一言で云えば能楽の歌謡であり、今から約五百年前に確立された古典芸能であると云われており、兵庫県庁においてもサークル活動の一環として、昭和二十九年に「県庁楽謡会」(観世流謡曲・仕舞)が結成され、私も昭和四十四年に入会して以来、今日まで稽古に励んできたが、私にとって唯一の趣味をよりは謡曲の舞台を連想しつつ散策を楽しむようになった。

神戸駅(JR)の北、こんもりとした森の中に湊川神社があり、ここには徳川光圀が建てた「嗚呼忠臣楠子之墓」があるので有名。謡曲では「楠露」と云う曲名が付けられている。曲趣は楠木正成

は都に攻め上る足利尊氏の軍勢を防ぐため摂津に下ったが、途中櫻井の駅で我が子正行と家臣の恩地満一とを呼び、正行には故郷に帰ることを命じ、満一には正行の補佐を命ずる。正行は父と最後を供にしたいと云って帰ることを聴かなかつたが、叱られて仕方なく承服する場面が演じられ、次の句が謡われている。

「清き石を、千代に傳えて菊水乃
流れ久しき湊川」

この物語は、我々の年代では小学校の修身の教科書に出ていたように思われるが、現代の若人には余り馴染みがないのではなからうか。しかしお正月の三ヶ日には何万人もの老若男女がお参りをし、何を祈っているのだろ……と思うことがある。

阪神電鉄・石屋川駅を下車して南側国道に出てから西へ約五百メートルのところに、処女塚古墳があり、阪神西灘駅を下車して東へ約二百メートルのところに西求女塚古墳がある。

謡曲では「求塚」と云う曲名が付け

られており、この古墳の言い伝えが題材

になっている。即ち「求塚」のシテの語りにあるように、この所に菟名曰少女という女がいて、小竹田男子と血沼丈夫という二人の男性に想われ「彼方へ靡かば此方の恨みなるべし、と左右なう靡く事なかりしに。」と思ひ悩んでいた。そこで母親は生田川の水鳥を射当てた者に娘

を奉ると云えば、二人はよろこんで鳥を射ると一人は頭を、一人は尾を見事に射通したので女は再び思い悩んだ末、
「すみわびぬ、わが身捨ててむ津の国の
生田の川は、名のみなりけり」と詠んで生田川に身を沈め、これを取上げてこの塚の土中に籠め納められた。二人の男子もこの塚にきて女のあとを追ひ、さし違えて空しくなったと云う悲恋物語りである。

「ふるさと 兵庫の歴史」によれば古墳にまつわる言い伝えとして同じようなロマンチックな記述があり「真中の処女塚に菟原処女の墓を、それをはさんで東西の求女塚に二人の男子の墓をつくった。前方後円古墳」と言い伝えられている。今は公園として整備され市民の憩いの場として親しまれているが、この物語りは「万葉集」にも歌われているとのこと、奈良時代にはすでに有名になっていたであろうか。真に殊勝な心の持ち主である。

神戸周辺には多くの謡蹟が散在しているが、今後これらの謡蹟を健康の続く限り訪れ、人生八十年時代を楽しみたいと思っている。



特集

原因者不明の 漁場油濁被害救済 申請の手引き(その5)

財団法人 漁場油濁被害救済基金

防除・清掃事業明細表

I 防除・清掃事業の実施状況

1 作業着手前の状況

(1) 発見時の油の状況

(日時、分布図、潮流、風向、漁場位置等)

(2) 作業着手までの油の動き

(日時、分布図、潮流、風向、漁場位置等)

(3) 作業着手までにとった措置

(打合会議、動員指令等)

(4) 油の排除地域(図示)

2 作業経過(日別に記録)

(1) 漁船、人員の作業分担、作業時間(図示)

(2) 油の排除分量

(3) 排除油の措置

(4) 油の排除地域(図示)

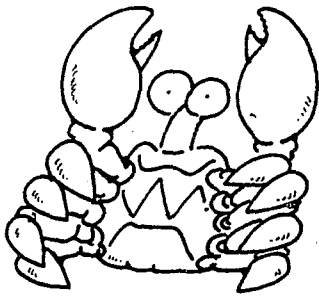
3 作業完了時の状況

(1) 使用資材の処置

注 作業着手前から完了まで、おおむね上記の順序、内容により詳細に実施状況を報告すること。

(2) 油の排除後の状況

4 原因者究明の状況(海上保安部・署における原因者究明の調査結果等)



3. 保管料

月日	数量	単価	金額	備考
		円	円	
計				

注 営業倉庫以外の保管料は、営業倉庫の料金を基準として計上すること。

4. 回収油及び汚染物の処理費

月日	運搬車費			回収油の焼却費			汚染物の焼却費			合計額 (④+⑤+⑥)	備考
	台数	単価	金額④	数量	単価	金額⑤	数量	単価	金額⑥		
		円	円		円	円		円	円		
計											

注 ① 回収油及び汚染物の焼却は、専門焼却施設を利用した場合に限る。
② 運搬車費は、自給所有のものを使用した場合は、燃油代等の金額とし、やむをえず、営業トラックをチャーターした場合は、その実費とする。なお、運搬車が自給所有か営業用かの別を備考欄に記入すること。
③ 専門焼却施設利用の場合及び営業トラック使用の場合は領収書の写しを添付すること。

II 防除・清掃事業の実施状況

1. 作業費

月日	作業区分	漁船		労働		合計額 (③+④)	備考	
		隻数	単価	金額③	人員			単価
			円	円	男	円	円	
					女	円	円	
計								

注 ① 作業区分は、オイルフェンス展開、油処理剤散布、吸着剤の投入・回収、油の汲み取り、汚染のり網の撤去又は払拭等の別に記入すること。
② 船舶の曳船を伴わない作業の場合は、労務の欄にのみ記入すること。
③ 作業時間(昼食休憩時間を除く。)が1日(8時間)に満たない場合は、当該時刻を備考欄に記入すること。
④ 船舶用船費は、作業時間がい時間以内の場合は半額とする。
⑤ 漁業協同組合所有船を使用した場合は、船代のみとする。
⑥ 他の漁業協同組合所属船及び当該組合員(又は当該組合員資格を有する者)の場合は要を別に記入すること。

2. 資材費

月日	品名	数量	単価	購入金額又は買付料 ③×④	残存価格 ⑤	金額⑥ ③-⑤	備考
	購入		円	円	円	円	
	買付						
計							

注 ① 品名はオイルフェンス、油処理剤、吸着マット、手袋等の別に記入すること。
② 購入したもので、残存価格のあるものは、その残存額を差し引いた金額を金額欄に記入すること。
③ 資材を購入又は買付した場合は、その領収書の写しを添付すること。

防除・清掃事業明細表 作成上の注意事項

I 防除・清掃事業の 実施状況

防除・清掃事業の実施状況は、実施主体となる漁協において、以下の事項に留意して漁場油濁事故発見時から作業完了までの経過を具体的に記録するものとする。

1 作業着手前の状況

作業着手前の状況としては、(ア)発見時の油の状況(日時、分布図、潮流、風向、漁場位置等)、(イ)作業着手までの油の動き(日時、分布図、潮流、風向、漁場位置等)、(ウ)作業着手までにとった措置(海上保安部・署等への通報、打合せ、動員指令等)を記述する。

2 作業経過

ついで、作業経過を日を追って記述する。その内容としては、(ア)漁船、人員の作業分担と作業時間、(イ)油の排除量、(ウ)油の排除地域(図示)、(エ)排除油の処置等を記述する。

3 作業完了時の状況

最後に、作業完了時の状況として、(ア)使用した資材の処置、(イ)清掃事業の必要

性、(ウ)再流出の可能性等を記述する。

4 原因者究明

海上保安部・署における原因者究明の調査結果等についての状況を記述する。以上、油濁の概況と対応措置の全貌が一読してわかるように順序よく詳細に記述するものとする。

II 防除・清掃事業に 要した経費

1 作業費について

作業費としては、労務費(人夫賃)と漁船の用船費があげられる。支弁の対象となるものは、漁協の指揮又は要請によって行われたものに限り、その算出基礎は農林水産統計の数値をもとに、労務費一人一時間当たり九百二十円、漁船用船費一隻当たり一日総トン数一トン未満船一万七千四百円、一トン以上三トン未満船二万二千二百円、三トン以上船三万八千五百円とする。(金額単価は平成四年四月一日現在)

したがって、例えば一トン船一隻の船に二人乗船して一日(実働六時間)作業したような場合は、(二万二千二百十五千五百二十×二人)で計算される額を限度として、各地の実情に合わせて算出することになる。油濁事故の形状から漁船を使用せず、陸上作業のみを行った場合に

は、労務費だけを計上する。

2 資材費について

防除・清掃事業に要した経費として支弁の対象となるものとしては、まず(ア)油の漁場への流入を防止、(イ)漁場に油が流入、滞留しているのを除去、(ウ)岩礁への付着油や砂浜への漂着油の除去、漁船、漁具、養殖施設の払拭、海底沈下油の除去、岩礁の破碎及び汚染物の除去(汚染のり原藻の摘採、汚染のり網撤去を含む)するため等に使用した諸資材がある。諸資材としては、オイルフェンス、油処理剤、吸着マット、ひしゃく、回収油入容器(ビニール袋、ドラム缶等)、手袋、ウエス、火薬等が該当する。これらのうち、購入したものについては購入価格の、貸借のものについては貸借料のそれぞれ実費(消費税が必要な場合には、その額を加算する。以下同じ。)を計上する。

3 回収油の処理費について

回収した油は、通常漁協所有の運搬車に積み込み、油の焼却場まで運搬して焼却する。この場合に使用した運搬車のガソリン代は支弁の対象とする。荷作業は一般の労務費と同様に扱うものとする。なお、やむを得ない理由により営業用の運搬車を使用した時は、その実費を計上することができる。また、焼却費は専門の焼却場に依頼した時に限り支弁の対象

とし、その実費を計上する。

4 避難のための漁具、養殖施設の移動、引き揚げ、沈設

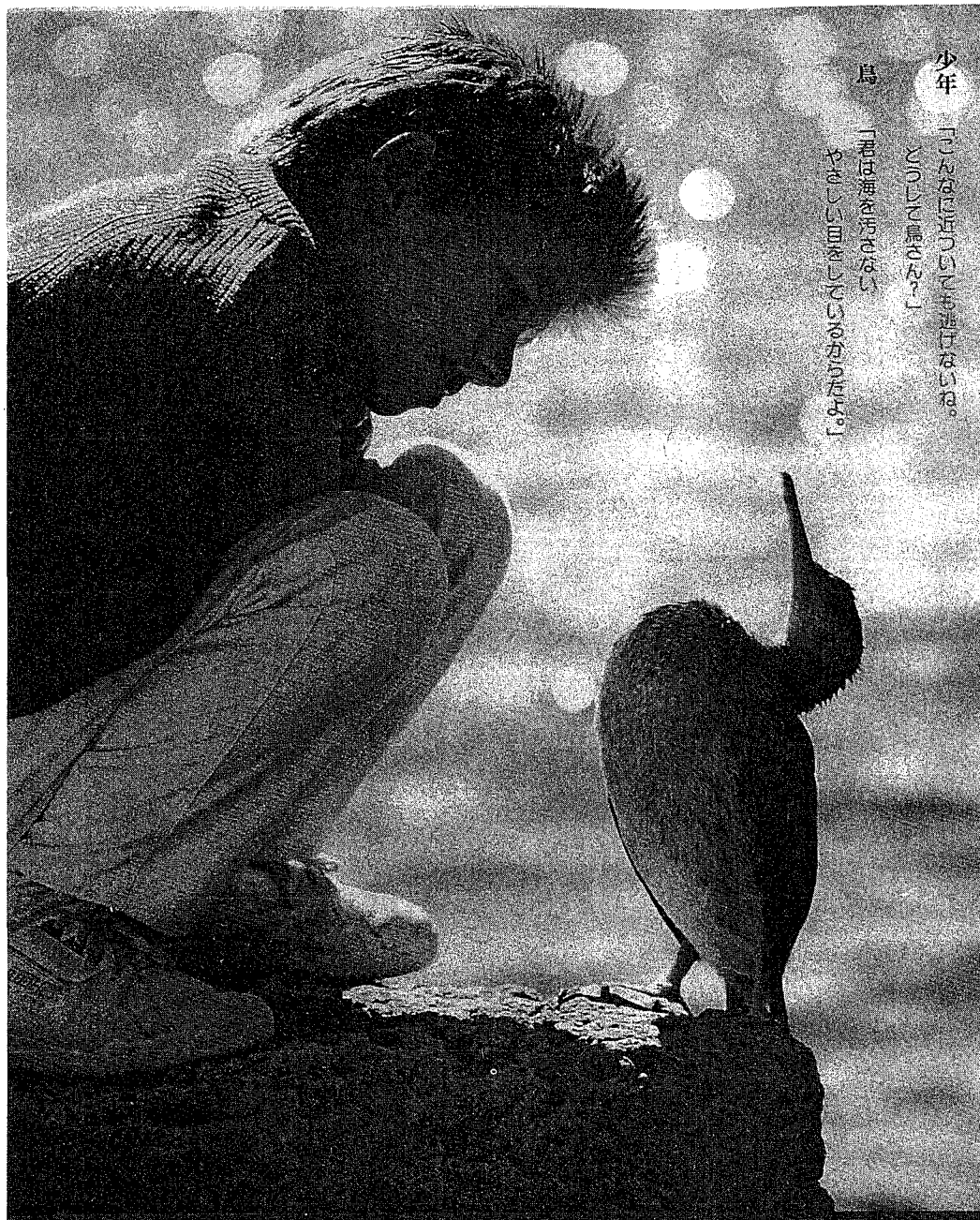
漁具、養殖施設の油汚染を防止するために安全な場所に移動したり、陸上に引き揚げたり、あるいは海面下に沈下させたりした場合の経費を支弁の対象とする。この場合に要する労務費と漁船費については、前述の作業費と同様の方法で算出する。作業費のほか、のり養殖業については陸上に引き揚げたのり網の保管料も支弁の対象とし、営業用倉庫の料金を基準として計上するものとする。

5 防除・清掃事業は、漁業被害の発生のおそれがある場合において、これを防止するために必要な限度で行われたものについて支弁の対象とする。

この手引きは、(財)漁場油濁被害救済基金が平成五年三月に発刊したもので、内容が漁業者の参考になる事項が多いので、同基金の承諾を得て本紙に連載しております。
次回は認定審査会報告書及び調査書の作成などをご紹介します。



瀬戸内海漁場環境保全対策連絡会が
油濁事故防止啓発用ポスターを作成



少年 「瀬戸内海の環境をきれいにしよう。」
鳥 「瀬戸内海をきれいにしよう。」

瀬戸内海を汚染から守ろう。

●瀬戸内海漁場環境保全対策連絡会 ●財団法人漁場油濁被害救済基金 ●漁協 ●漁連 ●全漁連

兵庫県知事
選挙投票日
10月30日(日)

- 投票日にやむを得ない用務などで投票に行けない方は不在者投票ができます
- 期間 10/13~10/29
- AM 8:30~PM 5:00
- 詳しくは最寄りの市区町選挙管理委員会へ

生分解性プラスチックを用いた ノリ養殖網の開発について

現在用いられているノリ網は、ビニロン、ナイロンなどのプラスチックを素材としています。プラスチックは自然環境中ではほとんど分解されることがありません。ノリ養殖の現場では事故などによりノリ網が流失することがありますが、長期間にわたって流失事故が繰り返されると膨大な量のノリ網が海中に蓄積されることとなります。

プラスチックごみ問題は漁業に限らず社会全体で大きな問題になっていますが、これに対する一つの解決法として、生分解性プラスチックの利用が現在進められつつあります。生分解プラスチックは既存のプラスチックと異なり、土壌や水中で暮らすバクテリアに分解されるという性質を持っています。

水産試験場ではこの生分解性プラスチックを用いたノリ網の開発を進めています。その経過について以下に述べます。

一、生分解プラスチックの種類

現在商品化されている生分解性プラスチックの中で、代表的なものとして、バイオポール、ビオノーレ、PCLの三種があげられます。これらはいずれも脂肪

族ポリエステルと呼ばれるプラスチックですが、バイオポールはバクテリアの体内に蓄積されるポリエステルを取り出したもので、他の二種は化学合成によって作られるものです。いずれも自然環境中

でバクテリアによって分解され、最終的には二酸化炭素と水にまで分解されます。またバイオポールは一般のプラスチックより燃焼温度が低いため、使用後に焼却炉で燃やしても、焼却炉の壁を傷めない

表1 単繊維を用いた室内培養試験における試験区

No.	素材名	HV含量 (mol%)	核剤 (wt%)	可塑剤 (wt%)	浸海水処理*
4	バイオポール	12	BN (1.0)	トリアセトン (1.0)	×
7	バイオポール	12	微粒子BN (1.0)	高分子可塑剤 (1.0)	×
13	ナイロン	-	-	-	×
14	ビニロン	-	-	-	×
15	PCL(ゲンゼ)	-	-	-	×
16	PCL(ゲンゼ)	-	-	-	○
17	ビオノーレ (昭和電工)	-	-	-	×
18	ビオノーレ (昭和電工)	-	-	-	○

*試験前に2日間の海水浸漬処理を行った。

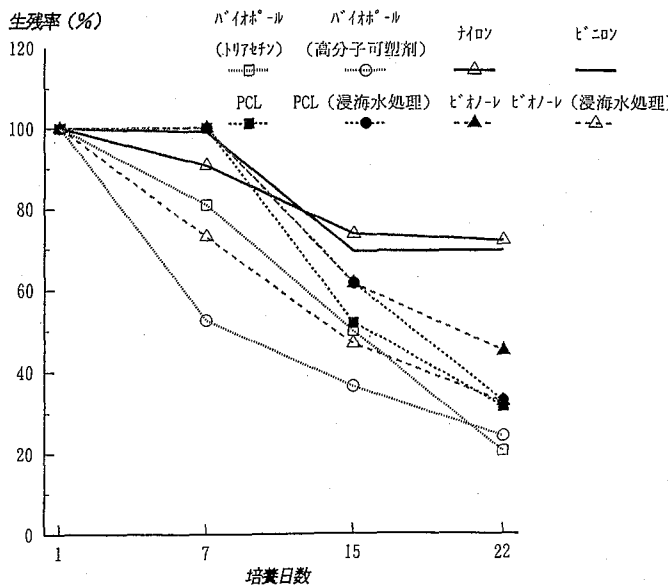


図1 単繊維を用いた室内培養試験におけるノリ葉体生残率の経日変化 (アサクサノリ系品種)

ではビオノーレで生残率が高く、バイオポールで生残率が低い傾向が認められました。図二には室内培養試験における採苗直後と培養二十一日後のノリ葉体密度を示しました。採苗直後では、ビニロン、バイオポールおよび浸海水処理をしたバイオノーレで葉体密度が高い傾向が見られましたが、培養二十一日後では、葉体密度はビニロンで最も高く、次いでナイロンであり、生分解性プラスチックではい

という性質を持っています。

二、生分解性プラスチック繊維上でのノリ葉体の生残

生分解性プラスチックの繊維でノリ網を作る前に、繊維上でノリ葉体がどの程度流失せずに生き残るかを検討しなければいけません。表一に単繊維を用いた室内培養試験の試験区を、図一にアサクサノリ系品種を用いて行った室内培養試験の結果を示しました。図一では生残を採苗直後の葉体密度に対する比率の形で表しています。培養二十二日目で各種プラスチックを比べると、生残率は既存のノリ網素材であるナイロンとビニロンで高く、生分解性プラスチックではいずれもナイロンおよびビニロンでより劣っていました。なお生分解性プラスチックの中

材に劣りました。

このように生分解性プラスチックは、ノリ葉体の生残という点で既存ノリ網素材に劣る傾向が認められましたが、この原因を探るために繊維表面を走査電子顕微鏡で観察してみました。すると繊維上での葉体生残率が低い繊維では、培養中に繊維表面に、多くの微細な溝や穴が生じることがわかりました。このような繊維表面の変化の原因として、バクテリアによる生分解または可塑性などの繊維成分の溶出が考えられます。いずれにしてもノリ網素材に適した生分解性プラスチック繊維を作るには、短期間に表面構造が変化しにくい繊維の開発が必要であると考えられます。

三、野外養殖試験の結果

野外養殖試験用の網には、バイオポールを素材とし、可塑性にトリアセチン（トリアセチルグリコール）を用いたものと、高分子可塑性を用いたもの二種類を使用しました。

育苗期間中の葉体生残率の変化を図三に示しました。バイオポールの二種類の

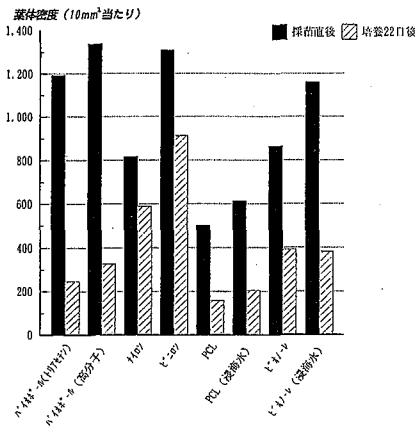


図2 単繊維を用いた室内培養試験における採苗直後と培養22日目のノリ葉体密度 (アササノリ系品種)

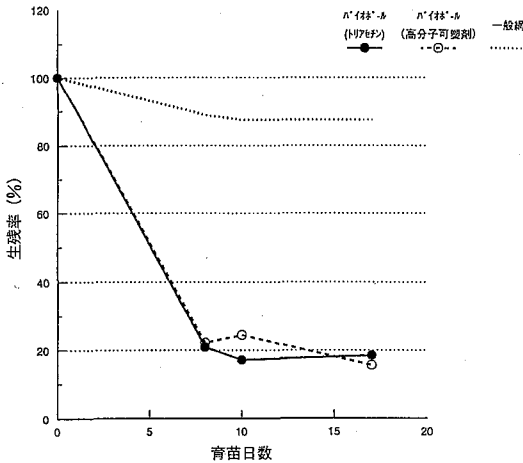


図3 野外養殖試験育苗期間中におけるノリ葉体生残率の経日変化

網は、いずれもビニロンとナイロンを主な素材とした一般網と比べると、室内試験の結果と同様に、生残率が劣りました。しかし生残率の低下は育苗初期の八日間に限られ、それ以後はほとんど低下しませんでした。

このような葉体の流失に対して、採苗時の芽付を一般網より高めたり、育苗期間を延長して二次芽を十分に育てる対策をとり、冷凍入庫時には、一般網と比べさほど見劣りのしない状態になりました。図四には前期本張り八日目のノリ葉体現存量を示しました。バイオポールの網は二種類とも一般網に比べ七割前後の現存量が認められました。

バイオポールのノリ網では、育苗中には葉体の流失が目立ちましたが、採苗時の芽付や、育苗管理を工夫することにより、一般網に近い生産性を確保できるとがわかりました。

四、今後の展望

生分解性プラスチックの自然環境中での分解速度は、製品の種類や、環境条件

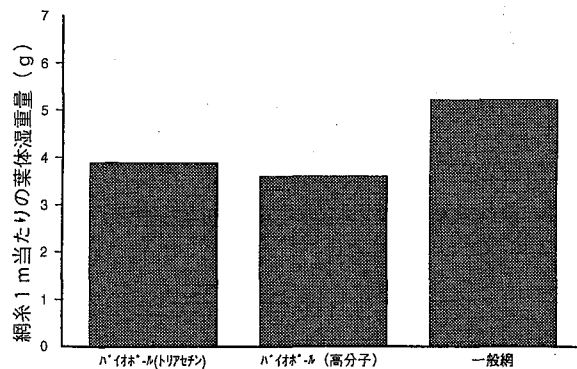


図4 野外養殖試験前期本張り8日目におけるノリ葉体現存量

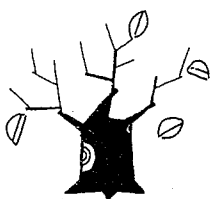
表2 野外養殖試験に用いたバイオポールおよびビニロン単繊維の織度および強度

種類	項目	織度 (den)	強度 (g/d)
バイオポール (トリアセチン)	試験前	450	2.00
	試験後	442	0.63
	保持率(%)	98.2	31.5
バイオポール (高分子)	試験前	477	1.40
	試験後	456	0.48
	保持率(%)	95.6	34.3
ビニロン	試験前	510	3.96
	試験後	510	3.16
	保持率(%)	100.0	79.8

によって異なりますが、バイオポールの場合、水中で約一年で跡形もなく分解されると言われています。ノリ網は一年のうち、育苗期間と本張り期間を合わせて三〜四カ月間海中に張り込まれます。表二には野外養殖試験前後でのバイオポールおよびビニロン単繊維の織度(単位長さ当たり重量)、および強度の変化を示しました。ビニロンでは約二十%しか強度が低下していないのに対し、バイオポールでは六十六〜六十八%も強度が低下しています。生分解性プラスチック製のノリ網を現在のノリ網のように二〜三年経けて使うためには、生分解速度がより遅く、強度の低下が少ない素材が求められます。しかし生分解速度が遅すぎると、本来の目的である自然環境中での分解が達成できなくなるので、生分解の速い素材の表面に、生分解の遅い素材をコーティングするなどの方法を検討する必要がありますと考えられます。

生分解性プラスチックの製品が普及すると、プラスチック製品を分別回収するような従来のモラルが廃れ、逆にごみ問題が激化するとの指摘が一部であります。これは、資源の無駄使いにもなり、憂慮すべきことでもあります。このようなことを防ぐためには、生分解性プラスチック製品を開発する一方で、製品のリサイクルのシステムも検討する必要があります。兵庫県立水産試験場 増田 恵一

増田 恵一



TOPICS

兵庫県漁協青壮年婦人のつどいを開催

去る、八月二十日(土)明石市民会館中ホールにおいて、兵庫県漁青連並びに兵庫県漁連主催による「兵庫県漁協青壮年婦人のつどい」が県下漁協青壮年・婦人部員三百余名の参加のもと盛会に開催されました。

この「つどい」は今までの兵庫県漁村青壮年婦人活動実績発表大会とはがらりと趣をかえて、青年部と婦人部の親睦と相互交流を図ることを第一としておこなわれたものです。

まず、開会にあたり星尾県漁青連会長、播磨県漁連会長の主催者挨拶があり、続いて県知事(矢野農林水産部長代読)、酒部県漁連会長、並びに木下信漁連会長より祝辞をいただきました。

参加者達は、昨年度見事に「海の子作文」において知事賞を受賞されました淡路町立若屋中学三年生の正田恭子さんによる作文「こ



挨拶を述べる星尾漁青連会長



挨拶を述べる播磨漁婦連会長

れからの漁業」の朗読や、ややもすると私はち目前の海の環境にしか関心を持ちませんが、もっと大きな視野で環境を守ることによって美しい海が甦ってくることを教えてくれる文部省選定ビデオ「森林と魚」の上映、また、ジャーナリストの村上和子さんの目から見た漁業についての記念講演「魅せる漁業への取り組み」等で見聞を広めるとともに、午後からの自慢大会では、青年部、婦人部から選ばれた精鋭が、木下審査員長をはじめとする五人の審査員の方々を悩ませるほどの、「のど」と美しい「踊り」で、目と耳を楽しませてもらいました。

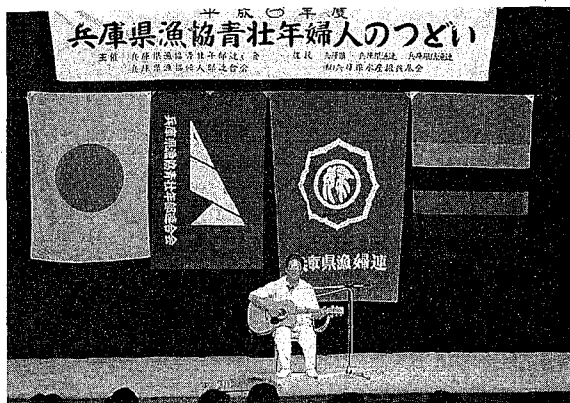
なお、自慢大会の各賞受賞者は次の通りです。

【優秀賞】

- ・カラオケの部
森漁協 灰野 吉一さん
南淡漁協 西本 雅子さん
- ・踊りの部
津居山港漁協婦人部のみなさん

【カレイで賞】

- ・カラオケの部
浅野浦漁協 奥野 一さん



自慢大会の様子

- ・踊りの部
浜坂町漁協 浜根 益枝さん
【アジがあつたで賞】
兵庫漁協 糸谷 敏子さん
根津 輝子さん
【イカつたで賞】
富島漁協 坂部 充さん
【ズッコケたで賞】
室津漁協 本多 春代さん
【ハッスルしたで賞】
淡路町漁協 横山加代美さん
【サバ呼んだで賞】
東二見漁協 中村 富彦さん
【うまいもんで賞】
竹野浜漁協 福丸 朋昌さん
東由良町漁協 船越 育子さん
【特別賞】
高砂漁協 小南 慶三さん
伊保漁協 高谷かつみさん

県漁青連ソフトボール大会 大優勝旗初の生野越え

去る、八月二十七日（土）明石海浜公園運動場において、第十六回兵庫県漁青連会長杯争奪ソフトボール大会が、炎天下の中、開催されました。

今回は残念にも、実力上位の淡路地区が出場できなくなり、摂播地区四チーム、但馬地区二チームの計六チームの参加による大会となりました。

まず、開会にあたり星尾・県漁青連会長が主催者挨拶を行い、続いて来賓を代表して、中西・県水産課技術吏員、中野・明石市農水産課係長、猿橋・県漁連指導部長より挨拶をいただきました。次に前年度優勝チームの東二見漁協青壮年部より優勝旗の返還、続いて同青壮年部の岸本選手が選手宣誓を行い、試合に移りました。

試合は、三チームずつ二ブロックに分かれてのリーグ戦で順位を決定。各ブロックの同順位チームが決まれば決勝戦、三、四位決定戦、五、六位決定戦という総合順位を定める方式で行いました。

熱気溢れんばかりのプレー
暑に加え、例



星尾会長より優勝旗を受けとる
浜坂町漁協青壮年部

年より参加チームの少ない大会となりましたが、試合開始と同時に熱気溢れんばかりの好プレーが続出し、白熱した試合内容となりました。特に、但馬地区勢の快進撃が目についた大会となり、三位決定戦では、津居山港漁協青壮年部が室津漁協青年部に快勝。又、決勝戦では、浜坂町漁協青壮年部が強豪明石浦漁協青年会を破り、栄冠を手中にし、栄光の大優勝旗は、大会十六回目にして初めて、日本海に渡ることとなりました。

日頃は、日本海と瀬戸内海で漁を競う若い漁業者たちが、この日はソフトボールで互いの技を競い合い、より一層親睦を深める意味で大変有意義な大会となりました。

平成六年度第一回兵庫県漁協 役員研修会および漁協信用 事業実務者研修会開催さる

八月二日、神戸市垂水区の舞子ビラにおいて、漁協役員等約百四十名が参加し、「平成六年度第一回兵庫県漁協役員研修会」が、また九月六日から七日の二日間、神戸市中央区の六甲荘において、関係漁協等から約五十

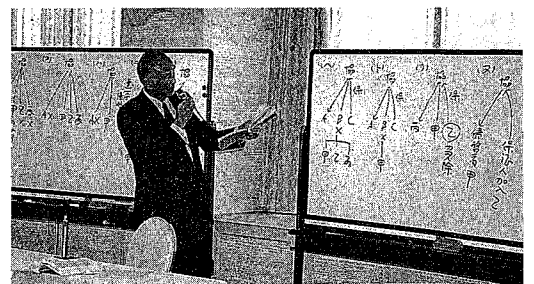
名が参加し、「漁協信用事業実務者研修会」が兵庫県漁連の主催で開催されました。これらの研修会は、漁協をとりまく情勢の急速な変化に機敏に対応し、組合員の多様なニーズに答え得る強い漁協として運営していくために、必要な知識を習得し、漁協事業の健全かつ安定的な実施と漁協の基盤強化に資することを目的として例年開催されているものです。

「兵庫県漁協役員研修会」では、「理事と監事の職務と権限」改正水協法・模範定款例等についてと題して、平成五年の水協法改正に伴う役員に関する規定の変更部分を商法の規定をふまえながら、全漁連 漁協組織強化対策室 吉田部長代理より講演が行われ、また、昭和六十三年に行政区域を越えた七漁協の合併によって誕生した水見漁協の合併事例について、当時その推進担当者であった富山県漁連水門専務理事より、推進上の苦労話、問題の解決方法等を「水見漁協合併事例」と題して講演が行われました。

そのほか、平成六年十月一日より変更されるローンチェーンについて、変更の内容と現在使用している機器の改修方法等について、「ローンCの方式変更に関する説明」と題して第五管区海上保安本部より説明が行われました。



講演される水門専務理事



講演される講師

また、「信用事業実務者研修会」では、「融資実務全般（受付から回収まで）」について、(株)協同セミナーの専任講師の辻俊策氏をお招きし、

信用事業に求められているものは、金は血液であるとの特性を認識し、社会的・公共的な各種サービスを行うことであり、その中で借入は、「自分のもっている将来返済できる潜在能力を先取りする手段であり、積極的に活用するものである」を基本理念に、人々との結びつきに重点を置いた講義が行われました。

現在、多くの漁協において金利の自由化、魚価の低迷と漁獲量の減少等から漁協の事業運営は低迷し、組合員の高齢化と新規就業者不足等から、組織の弱体化も進展しています。このような状態が、いつまで続き、より深刻な状態となるのか、あるいは一転して好転するのかは誰にも予測できません。しかし、漁協の役員には組合を運営する重大な責任があり、実務を担当している漁協職員にも、誠実にまた真剣に対応していく義務があります。今、漁業・漁協に関係している役員および職員として何らかの対策を考え、実行していかなければなりません。そのことを実感させる有意義な研修会となりました。

漁海況情報

兵庫県立水産試験場

海況

概況 猛暑の影響で高水温が続いており、播磨灘十五地点平均水温は、表層で二十七・三℃と平年値を一・五℃上回っている。七月は降水がほとんどなく、塩分の十五地点平均値は、表層で三二・二〇と平年を〇・八上回っている。明石海峡周辺を除き、成層が強まっており、底層の溶存酸素量は少なくなっている。播磨灘では七月下旬に漁業被害をもたらす渦鞭毛藻ギムノディニウム・ミキモトイが大規模に発生したが、現時点では細胞数がかなり減少している。灘全域の表、中層には栄養塩がほとんどないが、底層では平年値を上回る濃度となっているため、ギムノディニウムの動向には今後とも注意が必要である。

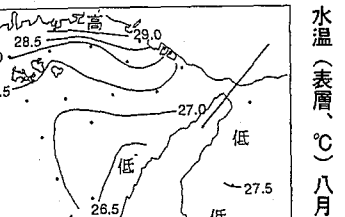
水温 播磨灘北部沿岸では二十九℃を上回ることも見られる。北部沿岸を除く播磨灘十五地点十層水温平均値は二十五・八℃であり、平年値を一・三℃上回っている。また十五地点平均値の表、底層の水温差は三・六℃と先月(三・七℃)並の値である。灘最深处では五・七℃と先月に比べ温度差が大きくなっている。

透明度 播磨灘北部および淡路西浦沿岸に小型珪藻が発生しており、十五地点平均値は先月に比べ若干低い値を示したものの、依然として平年より二程度高くなっている。

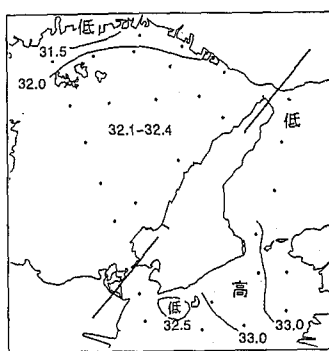
プランクトン 七月下旬に播磨灘北部を中心に渦鞭毛藻ギムノディニウム・ミキモトイが大規模に発生した。現在も灘全域に分布するが、細胞密度は数十〜数百細胞/mlに減少している。またギムノディニウムを

捕食するプランクトンも発生している。播磨灘北部や淡路西浦沿岸にキートセロ等の小型珪藻が発生しているが、シャットネラは全く見られない。

栄養塩 播磨灘表、中層の溶存態窒素、リンおよび珪藻濃度は平年値を下回っているが、底層の濃度は平年を上回っている。



塩分(表層) 八月



小型底曳網 明石海峡周辺を主漁場とする小型底曳網では、マダコ、マコガレイが主体であるがマダコは昨年と比較してかなり低調である。紀伊水道北部ではエビ類、マダコが主体である。

一本釣・曳網釣 明石海峡及びその周辺域では、タチウオ、スズキ、つばす、マダイが主に漁獲されている。紀伊水道北部ではアマジとタチウオが主漁獲物となっている。

船曳網 しらす漁は、盆頃より漁獲は上向きとなっている。魚体は小型傾向である。

カタクチイワシ卵・稚仔 卵は、主として播磨灘に出現しており、全体的に平年よりかなり多い。稚仔は播磨灘では平年より多かったが、他の海域では少なかった。

海区漁業調整委員会だより

内容としては、行政手続法の施行に伴い、「聴聞」という言葉が他の法律等で使用できないため「意見の聴取」に置き換え、それに関連する条項を整備するものである。

八月二十六日

第二二五回兵庫県瀬戸内海海区漁業調整委員会及び委員協議会を兵庫県公社館で開催

一、兵庫県漁業調整規則の一部改正について(諮問)

(行政手続法施行による用語の整備等)

兵庫県知事から、漁業調整規則の一部改正にかかわる諮問が提出され、審議の結果原案とあり答申することに決定。

委員協議会

一、第二十九回全国海区漁業調整委員会連合会西日本ブロック会議の提出議題について

本海区から西日本ブロック会議に提出する議題について審議を行い、「五トン未満の一般船舶の登録制度の確立について」及び「海区漁業調整委員会経費の助成拡充について」を提出することに決定。

二、姫路地区小型機船底びき網漁業の操業期間について

平成六年二月に姫路市漁民組合連合会及び姫路市小型機船底びき網漁業同業会から要望のあったちんこぎ網漁業の周年操業問題について播磨漁友会で行われてきた審議経過をもとに検討し、今後更に関係者間の調整を図っていくことになった。

三、その他

次回委員会を九月十四日に決定した。

八月二十四日

第三十七回但馬海区漁業調整委員会及び委員協議会を但馬水産事務所会議室で開催

(委員会議事)

一、兵庫県漁業調整規則の一部改正について(諮問)

本年十月一日に予定されている行政手続法の施行に伴い漁業調整規則の一部を改正する必要があることから、その改正案について知事から諮問がなされ、審議の結果全会一致をもって「原案どおり決定されて差支えない」旨の答申をすることを議決。

また、「県が国に規則の一部改正を申請するに際し、字句又は表現内容の一部を修正する必要がある場合には県に一任する」旨を付帯決議。

なお、今回の規則改正は、漁業の許可等をしない場合や許可等の取消し、変更、操業停止等のいわゆる不利益処分を行う際の事前手続の規定を行政手続法の趣旨に沿って所要規定の整備がなされたものである。

また、今回改正の原因となった行政手続法は、「処分、行政指導及び届出に関する手続に關し共通する公正の確保と透明性の向上を図り、国民の権利利益の保護に資する」ことを目的に昨年十一月に制定公布されたもので、現在は各法令によりはらつき

が大きい行政手続につき、本年十月一日の施行日までは全関係法令・規則等の整合性を図るべく改正手続を済ませることとされている。

(委員協議会議事)

二、平成六年度全漁調連日本海ブロック会議の提案議題等について(協議)

①十月のブロック会議における関係府県海区の各提案議題等について報告がなされると共に、当海区としての対応案を協議の結果、各海区の提案趣旨に賛同することによって了承。

②同会議に当海区から提案する「韓国漁船に対する漁業秩序の確立について」の提案趣旨について検討の結果、従来より一歩進め、「日韓関係の技術的見直しを行い、二百海里制度の全面適用を図ること」及び「前記措置に至るまでの間は、過渡的な措置として韓国船についても六ヶ月は底びき網を禁止、監視取締体制の強化と我が国の取締法や国内規制が適用される資源管理水域の実現、韓国はいかこ・あなこ・かこ・底網等の漁具設置箇所の調査と情報の提供」等を中央に要望することになった。

③当海区における開港準備の進行状況等の報告。

三、平成七年以降の小型いかづり漁業の許可取扱方針等要素案について(協議)

継続案件となっている平成七年以降の取扱について具体策を検討。

特に今回は、懸案となっていた県外船の許可枠設定の是非について論議したが結論には至らず、次回までに再度各組合単位で検討の上対応案を持ち寄ることになった。

四、但馬海区専属の漁業取締船建造に関する要望書の提出について(報告)

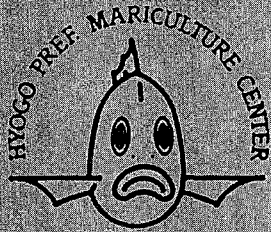
前回の委員会で決議した要望書の最終成文と提出につき報告。

五、べにすわいがいかづり漁業の許可取扱方針の施行について(報告)

前回の委員会で諮問答申し取取扱方針の施行につき報告。

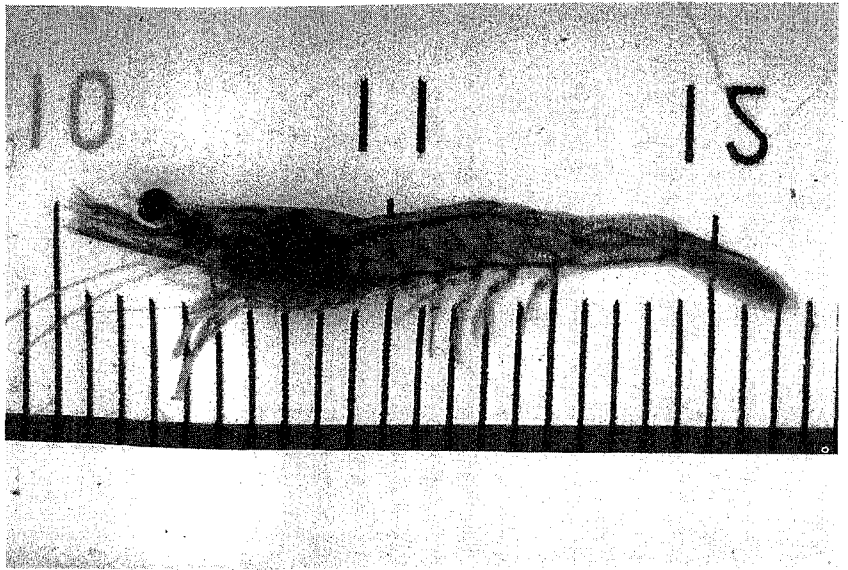
六、海面利用協議会の設置に係る水産庁長官通達について(報告)

従来の漁場利用調整協議会等の発展的改組に伴う新しい措置につき報告。



栽培漁業センターです

72



津名事業所で生産されたクルマエビ種苗

今夏の夏は記録的な猛暑が続いています。栽培漁業センター地先の水温も八月上旬の現在、約二十八℃、この水温は、センター観測史上最高で例年に比べて三℃も高く推移しています。

現在、栽培漁業センターではオニオコゼの量産試験を行っています。オニオコゼは、瀬戸内を代表する魚の一つですが、近年減少の一途をたどっています。その姿からは想像もできない程の美味ですが、高級魚で漁獲量も少ないため、最近では寿司屋、料亭でしか味わうことができません。

栽培漁業センターでは全国に先駆けて、昭和五十九年から量産試験を行っています。オニオコゼの仔魚は、全長三・六ミリで半透明ながら親魚そっくりの姿をしています。今年、七月八、十日に一トン水槽四槽と二十五トン水槽に計十三万尾のふ化仔魚を収容して量産に挑みました。八月上旬現在、着底を完了した、全長十八ミリの

稚魚を約三万尾飼育中。また、五月中旬から飼育を行っていたガザミ種苗生産事業は、七月十八日までに、計五百八十七万匹の稚ガミを生産して無事終了しました。

本年度のガザミ種苗生産が順調に行えたのは、平成四年度から全国的に問題となっていた真菌症の発生を、pHをコントロールすることにより未然に防止できたからです。方法は、pHが九・二五になるよう、飼育水槽に可性ソーダを添加して行います。この方法により、ガザミの安定生産が可能になると考えております。

一方、津名事業場で行っていたクルマエビ種苗生産事業は、八月四日までに、計七百五万尾の稚エビを淡路島東浦一帯の関係市町に配布しました。

配布した種苗は、三十ミリ以上まで中間育成された後それぞれの地先に放流されます。

(兵裁協 檣 秀隆)

普及員だより

「但馬・海中公園展」から

「但馬・理想の都の祭典」の一環として、ここ香住町では「但馬・海中公園展」が開催されています。同実行委員会の皆さんによる連日連夜の準備作業のいかにもあって、評判は上々で八月上旬には早くも目標入場者数三十五万七千人を突破しました。

テーマ館の「海の館」で紹介されている、但馬の漁業や海の歴史等に関する展示や映像も好評ですが、同展の目玉は但馬の海をアピールすることだけに、なんととても海中観光船マリンスーガル号による海中探訪コース、そして四月にオープンした但馬栽培漁業センターの見学コースでしょう。海中探訪コースで特に好評なのは、自動給餌機を備えた海上いけすに船を横付けし、音響馴致されたマダイ等が元気に餌に群がるのを海中からみられることです。我々普及員も水産事務所職員や水試普及部と一緒に、いけすの設置や網替え、魚の搬入等の作業に汗を流してきたこともあって、子供達の笑顔を見ると嬉しくなっています。

但馬栽培漁業センターでは、栽培漁業への理解を深めるために、生きた種苗や但馬で漁獲される魚介類を見ることが出来ます。同センターの仲野所長のお話では、一般の見学者は大きい生きもの(ミズダコや小型のサメ)が「でん」といるか、小さい生きもの(種苗)が「わっ」といふのに興味をそえられるそうです。

一般の人は栽培漁業といえは漠然と「作り育てる漁業」位のイメージしか持っていないようですが、膨大な数の生きた種苗を目のあたりに観て、わが国の世界的な種苗生産技術を認識してほしいと思います。

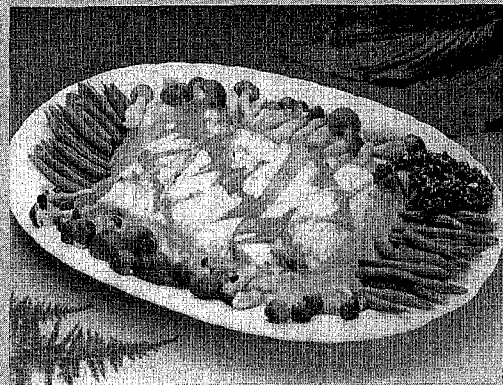
瀬戸内海と違って、但馬の漁業は沖合底曳網を基幹として発展した歴史があり、栽培漁業を受け入れる基盤が必ずしもしっかりできていないとはいえない状態ですが、センターで生産される種苗を根気よく育成、放流することにより、近い将来大きな放流効果とともに、但馬に栽培漁業がしっかりと根付く日が来ることでしょう。

(但馬水産事務所)

◆材料・分量◆

タチウオ	3匹	しめじ	100g
塩、こしょう	少々	(ソース)	
マーガリン	大さじ3	マヨネーズ	大さじ3
小麦粉	大さじ5	梅肉	大さじ2
インゲン豆	100g	酢	大さじ1
		化学調味料	少々

●タチウオのムニエル●
〜梅マヨネーズソース添え〜



アイデア料理 丸山漁協婦人部

◆作り方◆

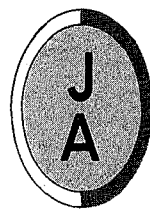
- ①タチウオを三枚におろし、十皿位に切り、塩、こしょうをして小麦粉をつけ、フライパンにマーガリンをしきこんがり焼く。
- ②つけあわせにインゲン豆、しめじをそれぞれ塩、こしょうで軽く炒める。
- ③酢とマヨネーズ、梅肉をませ、ソースを作る。
- ④皿にソースをひいて、焼きだてのタチウオと付けあわせを盛りつける。



旬の美味い話 23



兵庫JCC通信
今、JA・生協では



『平和の願いを
広島から世界へ』



東京から広島まで歩いた「通し行進者」らを会場の参加者と一緒にとたえあいました。

はじめ、関西学院大学生協(八人)、阪神医療生協(六人)、神戸医療生協(五人)など、尼崎医療生協(五人)、コープこうべ労働組合(二十三人)、兵協連(二人)ら百七十人の組合員・職員が参加しました。

平和への熱い思いを広島から世界に伝えようと、日本生協連のヒロシマ行動に県下の生協から、コープこうべ(百十九人)をはじめ、関西学院大学生協(八人)、阪神医療生協(六人)、神戸医療生協(五人)など、尼崎医療生協(五人)、コープこうべ労働組合(二十三人)、兵協連(二人)ら百七十人の組合員・職員が参加しました。

中心行事の「94ヒロシマ虹のひろば」は、八月五日、広島県立総合体育館で日本生協連と広島県生協連の共催で行われ、全国九十二の生協から約三千五百人の組合員・役職員が参加しました。

主催者あいさつにたつた森定進・日本生協連副会長は、生協の平和運動の進め方にふれ、第一に平和の大切さを肌で感じること、第二に戦前戦中を通じてアジアの国々への日本の行為を認識すること、第三に被爆者援護法制定にむけた取り組みを強めること」の三点を強調しました。

参加者は、被爆の証言や各地の平和の取り組みの交流などを通じて、核兵器廃絶へ誓いを新たにしました。

兵庫県下では、多くの生協が、平和を求めて十日間歩き続けた平和行進をはじめ、映画会、すいとん試食会などの平和の活動に取り組んできました。来年は被爆・敗戦五十周年にあたり、より一層の平和の大切さをアピールすることが求められています。

食料と農業守ろう
消費・生産者がシンポジウム

ひょうこの農業と食料を守る会主催の「農業と食料に関するシンポジウム」が七月二十七日、県農業会館で開かれ、消費者・生産者ら百六十人が参加しました。

記念講演では、東京農業大学の梶井功教授が、「わが国米政策の検討課題と将来方向」と題して、ウルグアイ・ラウンド合意後の国境保護措置のあり方や、機能を失いつつある食料管理制度の今後の方向について講演しました。

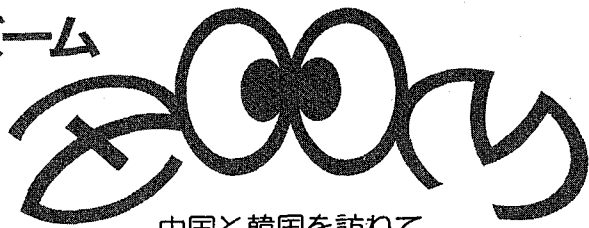
また、神戸大学農学部の保田茂教授を議長にしたパネルディスカッションが行われました。「生活を守るための農業・食料政策の確立を求めて」をテーマにしたパネルディスカッションでは、行政、消費者、生産者、JAの代表が、それぞれの立場から農業・食料問題について、意見を交わしました。

最後に、緑豊かな環境の中で、地域の農業が守られ、安全・安定的な食料供給を維持し得るような農政を実現していくために、生産者と消費者の相互理解と連携を、これまで以上に深めることを誓い合うというアピールを採択しました。

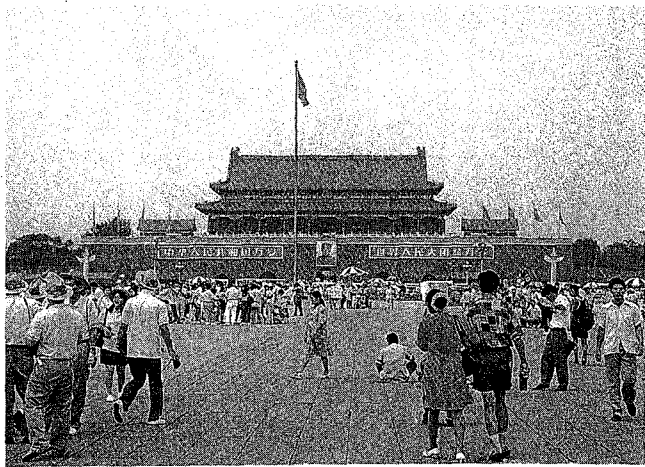
農業と食料に関するシンポジウム
主催/ひょうこの農業と食料を守る会



相互理解を深めたパネルディスカッション



中国と韓国を訪ねて



天安門広場

第十五回近畿青年 洋上大学に参加して

兵庫県漁連
播磨支所 指導課

佐藤 泰弘

八月七日から十九日までの十三日間、近畿青年洋上大学に参加しました。今年で十五回目を数える近畿青年洋上大学は、近畿二府六県（兵庫、福井、三重、滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山）の二十〜三十歳の「学生」およびスタッフ五百余名

が、船で中国および韓国を訪れる研修旅行で、「ごころ」をテーマに、団体生活や国際交流を通じて、自己を見つめ直し、人と人、人と自然、人と社会のあり方を追及し、将来の「近畿」を担う人材を育成するのが目的です。

この洋上大学は、観光旅行ではなく、あくまでも研修ということでしたが、内容としては、船長・学長の講話、洋上ゼミナール、班別研修などの「勉強」以外にも、ホームステイ、観光、買い物、レクリエーションなどが、朝早くから夕方までびっしりの盛り沢山のスケジュールでした。

八月七日、我々洋大生五百余名を乗せた客船「ニューユーとびあ（一万二千五百トン）」は、不安と期待を胸に、一路、中国天津港に向け、大阪港大保山を後にしました。

三日間の洋上生活を過ごした後、いよいよ、八月十日、天津港に到着。中国の子供たちの鼓笛隊による歓迎セレモニーで迎えられ、中国大陸に上陸。早速、十六台のバスに分乗し、いざ、北京へ。北京では、かの有名な天安門広場と故宮博物院を見学し、その日は北京のホテルに宿泊しました。

翌日、八月十一日、いよいよ、待ちに



万里の長城

待った万里の長城の見学。ところが、過密スケジュールのため、見学時間はたったの一時分足らず。矢継ぎ早に上まで駆け上がり、じっくりと見学する時間がありませんでしたが、その壮大さには感動しました。

その後、万里の長城から、天津に戻る道中で思わぬアクシデントが……中国の交通事情があまり良くないのは、分かっていたのですが、我々の乗ったバスが、まさか事故に遭うとは……。同じ洋大生を乗せたバス同志で玉突き衝突の事故があったのです。幸い、たいしたケガ人はありませんでしたが、後からバスが突っ込んできたときには……、今考えても、ぞっとします。

事故の余韻を残しながら、万里の長城の見学の後は、中国青年たちとのスポーツ交流と交歓パーティーがあり、中国青年たちの、流暢な日本語には驚かされました。その夜は天津市内のホテルに宿泊

し、翌日には、次の寄港地上海に向け、天津港を出発しました。

八月十四日、上海港に到着。上海からは、電車とバスを乗り継ぎ、数時間かけて、ホームステイ先の揚州へ。予定が大幅に遅れ、揚州に着いたのは夜の九時を回っていました。予定していた受け入れ先の家に着くなり、その家の主の「聞いてないよー（もちろん、中国語で……）」という一言で、とてつもない不安が脳裏をよぎりました。途方にくれていたところ、地元の内会のおばさん？のお世話で、急ぎよ別のお宅を探してもらい、安心したのもつかの間、予想通り、言葉が全く通じず、会話には悪戦苦闘でしたが、ホームステイ先の除さん一家が我々を温かく迎え入れてくれたことは、今でも忘れられない思い出です。

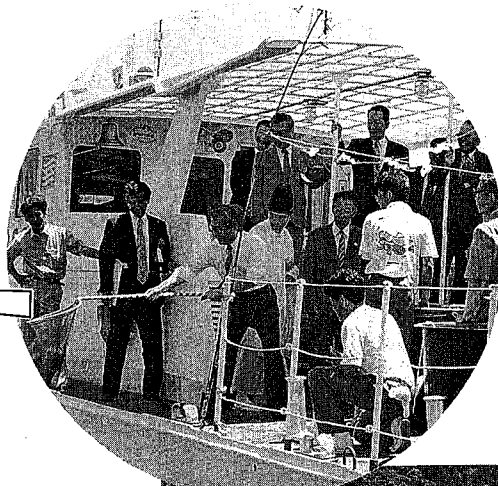
翌日の八月十五日には、揚州から上海まで戻り、次の目的地である金山に向け、再び洋上での生活に戻りました。

八月十七日、韓国釜山港に入港し、仏国寺の見学の後、慶州に到着。慶州では、韓国青年たちとのディスカッションと交歓パーティーが行われました。韓国は日本に一番近い国で、これまで日本を目標に発展してきたとおり、その町並みも、海外にきていることを忘れさせるほど、日本の風景とよく似ていました。

八月十九日、たくさんの人に迎えられ、神戸港に無事帰国。今回の洋上大学参加を通じて、異国の文化やそしてそこに住む人々との交流、そして思わぬハプニングなどの多くの貴重な体験、さらには新しい仲間たちとの出会いから、自分の中で新たな発見がありました。生涯、なかなか味わうことのできない経験が出来た長いようでも短かった十三日間でした。

●サンテレビの

こちら 海です



稚魚の放流をする兵庫県知事 他

中間育成の指導



活力ある21世紀の兵庫の海。
漁協づくりについて語る青専務

豊かな 兵庫の海を 願って

～城崎郡香住町 他より～

'94.8月7日放送
(第880回)

ロケだより

兵庫県は、ご存じのように北に日本海、南に瀬戸内海と云う生産性の違う二つの海を有する海の豊かな県です。しかし、昨今の漁業を取り巻く現状は、後継者不足・海の資源の減少等、様々な問題が水産業を取り巻いています。現在、兵庫県には六十六の漁業協同組合があります。漁業協同組合は、漁業者の経済的・社会的地位の向上と、漁業の生産力増進のため、昭和二十四年から各地で開設し始められた漁業者の団体です。漁業者は現在、約一万人、兵庫県民、約五百五十万人からして、ましてこれだけ海に面しているのに、思ったより少ないのに驚きました。この各地の漁業協同組合の要が兵庫県漁業協同組合連合会です。兵庫県漁連は昭和二十六年設立されましたが、現在の新しい兵庫県漁業協同組合連合会が発足したのは昭和五十一年のことでした。この頃はPCBの問題など、漁業に一抹の陰りが見え始めた、厳しい将来を見据えた頃でした。以来、県漁連は時代に対応するべく、漁業者の経済的・社会的地位の向上に取り組んできました。その後、但馬・淡路・播磨に3つの支所を開設。燃料や資機材・活魚や水産加工品の販売、養殖の生産指導・漁協の経営運営指導等、各地の漁業協同組合の牽引者として、兵庫の漁業を取り巻く様々な問題に取り組んできました。様々な問題が各地である中、但馬海区は松葉がにの保護と増殖の推進。広いと言っても狭い、国際漁場としての日本海の近隣諸国との休業問題等の解決に向け、一丸となって取り組んで

います。摂津海区は大阪湾の大型プロジェクトの中の漁船の安全操業。播磨海区は遊漁船との協調問題。広いと思っていた海が狭く感じる程色々な課題があります。資源の減少問題解決のため、県漁連が中心となって、小さな魚介類はとらない・うらない・かわない運動、抱卵ガザミの再放流、全国的展開のバックフィッシュ運動、者のクリーン作戦など、色々の運動を展開しています。兵庫県漁連が様々な取り組みを行う中、全県的な取り組みとして展開してきたのが、昭和五十年を第一回目とする『豊漁祈願祭』です。この豊漁祈願祭は、漁業環境や資源等様々な問題を考える取り組みです。二十一世紀に向け、合併等も含めての活力ある漁協の在り方・栽培漁業の推進・日本海の国際漁場をとりまく近隣諸国との共存等、色々な問題がある中、平成六年には、但馬栽培漁業センターも開設され、日本海の生産性の課題と取り組もうとしています。今年の『豊漁祈願祭』は、七月二十三日、香住町の西港で開催されました。真夏の暑い一日、兵庫県知事もタオルを腰に下げて、放流に汗をながしました。タイやヒラメの稚魚や親魚。この暑い夏の日、兵庫県民の暑い暑い願いがこめられての『豊漁祈願祭』でした。県民五百五十万人みんなの海。漁業者のみならず県民みんなが我が兵庫の海を考える時、一人一人の心掛けが美しく豊かな兵庫の海になることを忘れないでほしいものです。

1994年9月10日発行 通巻 455号
昭和32年10月18日 第3種郵便物認可

発行人 兵庫県漁業協同組合連合会

発行所 兵庫県漁業協同組合連合会
(財)兵庫県水産振興基金

〒652 神戸市兵庫区中之島2-2-1 FAX 6571-6685

TEL 652-3424 定価80円(本体78円)